



安全研修のさらなる充実に 向けた取組み

研修部



今回は東日本研修センターにおける安全研修に関するトピックです。

I. 2020年度安全研修について

2020年度は安全研修をさらに充実させるため階層や到達レベルをわかりやすく、かつ会員会社の安全衛生品質活動の支援になり得るよう研修ラインナップを大幅に増やし実施いたします。

1. 階層別と到達レベル

2020年度の安全研修は2019年度研修体系の初級・中級・上級から、入社時からの年数および業務経験に応じた以下の4つの階層とし、それぞれの主目的を明示することで選択しやすい体系としました。

- (1) 入社5年未満（新入・一般社員）までの階層では安全活動に主体性を持って取り組む意識を修得。
 - ・安全に対する気づき、意識の向上
 - ・危険を感じる感受性の醸成
 - ・安全規律の理解と定着および習慣化
- (2) 業務経験5年～10年未満（安全衛生スタッフ・職長等）の階層では安全活動に必要な知識技能等を修得。
 - ・安全作業に必須な知識と技能
 - ・基本的な人身設備事故の未然防止対策
 - ・自ら安全を理解し施工者に安全を伝え業務に従事できる人材
- (3) 業務経験10年～15年未満（部課長等）の階層では職場環境の形成や労働災害の防止、企業責任やメンタルヘルス対策などを含めた安全・衛生・品質活動に必須となる指導と管理方法を修得。
 - ・職場における労働者の安全と健康の確保等の指導と管理
 - ・快適な職場環境の形成と促進等の指導と管理
 - ・具体的な災害防止対策の策定等の指導と管理
- (4) 業務経験15年～20年以上（事業所長等）の階層ではリスク回避と関係法令に基づく安全点検等の指導と管理方法を修得。
 - ・経営方針と安全を理解し危険性の判断と回避についての指導と管理

・労働安全衛生関係法令をよく理解したうえでの法的な安全点検等に基づく指導と管理

2. 階層別の研修一覧

(1) 入社5年未満の階層

◇新規研修

研修名	日数	対象者等
5Sの定着化による安全衛生の向上とコストダウン研修科	1	安全衛生スタッフ、5S推進リーダー等になる方
安全運転のための交通危険予知活動実践研修科	2	安全運転管理者、交通KYTトレーナー各候補者および日常的に運転業務に従事する方
KYT（危険予知訓練）研修科	1	新しく職場リーダーになる方で活用技法を勉強したい方
ヒューマンエラー災害防止対策研修科	1	現場施工者、監督者、安全担当の方
安全衛生研修科（初級）	1	

◇既存研修

危険体感安全研修（所外）	1	高所作業等危険作業に従事する方、ヒヤリハット等を経験し安全意識を高めたい方
--------------	---	---------------------------------------

(2) 業務経験5年～10年未満の階層

◇新規研修

研修名	日数	対象者等
化学物質管理の初歩研修科	1	化学物質管理に取り組もうとする安全衛生担当者の方
安全衛生研修科（中級）	1	安全品質遵守の手法と危険に対する分析・回避を勉強したい安全衛生スタッフ、職長の方
職場リーダー向けリスクアセスメント研修科	1	現場の監督者、職場リーダーおよび実際にリスクアセスメントを実施する作業の方

◇既存研修

KY研修インストラクタ科	2	社内研修のインストラクタに成り得る方
安全パトロール研修科（線路）	1	安全パトロールを実施または今後実施する者で施工者等に対して安全指導を行う方
設備事故防止対策インストラクタ科（線路）	2	会社実施の設備事故防止対策科（線路）のインストラクタになり得る方
設備事故防止対策インストラクタ科（土木）	2	会社実施の設備事故防止対策科（土木）のインストラクタに成り得る方

(3) 業務経験10年～15年未満の階層

◇新規研修

研修名	日数	対象者等
マネジメントシステムリーダー研修科	2	OSHMSの構築および運用する際に中心的な役割を果たす方 [厚生労働省OSHMS指針に基づく資格取得コース]
管理・監督者のための化学物質管理研修	1	化学物質に係る管理監督者、職場リーダー（部課長等）の方

(4) 業務経験15年～20年以上の階層

◇新規研修

研修名	日数	対象者等
ISO45001導入のための基礎研修	1	これからISO45001およびOSHMSの導入に向けOSHMSの基礎知識を得たい管理監督者の方
ISO45001規格のポイントと実践研修科	1	ISO45001の認証取得を検討している事業場の安全衛生の管理監督者の方
総括安全衛生管理者研修科	1	新たに総括安全衛生管理者の職責に就かれた方
安全衛生研修科（上級）	1	安全の主軸となり、安全衛生等の知識を社員へ指導する管理者の方

(5) 安全専任者

下表の研修を含め業務経験に応じた階層別研修の受講もお勧めします。

◇新規研修

研修名	日数	対象者等
管理監督者・職場リーダーコミュニケーション力向上研修科	1	安全専任者または施工現場等でのコミュニケーション力を向上させたい方

◇既存研修

安全専任者研修科	3	新たに安全専任者として従事する方
安全パトロール研修科（線路）	1	安全パトロールを実施または今後実施する者で施工者等に対して安全指導を行う方

以上が2020年度安全研修です。これら研修のほとんどは東日本研修センターのみで実施いたしますが、全国の会員会社のみならず多数受講され、現場・職場の安全につながっていくことを願っております。

なお、2020年度安全研修「階層別」研修体系を研修部HP（CONTENT_コース案内）にも掲載しておりますので是非、ご覧下さい。

II. VR体感研修について

2018年度から危険体感安全研修に、墜落・転落の危険性をよりリアルに感じられるようVRを導入していま

す。現在まで約1,500名の受講生が体感し大変好評を得ております。

本研修は、実際には安全に体感できるよう低位置で行うのですが、高所作業時の臨場感を高めるため、ヘルメット上に装着したVRゴーグルに地上約5mから撮影した360度映像を映し出します。これにより、実際の衝撃を伴った疑似的な墜落、転落を体感でき、高所作業に対する危険認識を深めるとともに基本動作順守の重要性を効果的に学ぶことができます。各写真にあるように、年々VRを活用した体感メニューを増やしています。是非一度ご体感ください。なお、比較的安価な汎用品で実現可能ですので、各社の体感研修でも取り入れられることをお勧めします。

(1) 柱上作業墜落体感



(2) 引込線切断時衝撃体感



(3) 梯子滑り転落体感

